

〔平成4年度駐村研究員会議報告・討論記録〕

転換期における農業・農村振興の課題

平成4年度駐村研究員会議が平成5年2月5日に標記のテーマで開催された。今回の駐村研究員会議の報告者および報告テーマは以下の通りである。

- (1) 酪農経営環境の変化と地域酪農の課題——八雲酪農の可能性と政策的支援のあり方——
野 敏夫（北海道八雲町，八雲農協職員）
- (2) “みるくたうん”に住む人々——消費者との交流から見えてきたもの——
島添美葉子（山口県防府市，（株）みるくたうん役員）
- (3) 転換期における農業・農村の振興と広域農協合併——畑作農業振興をめざして——
料所奈須夫（鹿児島県大崎町，大崎農協職員）
- (4) 山村振興対策と地域の動向
松田 広昭（岐阜県上宝村，上宝村職員）

司会は宇野忠義農業構造部長，石原豊美農村社会研究室研究員の2人があたった。報告に先立って，所長から「転換期における農業・農村振興の課題」というテーマを設定した背景について説明があった。その後4人の駐村研究員から報告があり，最後に全体討論を行った。なお，この会議には，稿末の出席者名簿にあるように，関係の行政部局や試験研究機関を始めとして所外からも参加をいただいた。

以下は，その報告の記録であるが，報告および討論の発言部分については駐村研究員ないしその連絡担当の研究員が，またその他の部分については研究交流科が整理した。